

## No.1985

10月31日例会 プログラム 「環境とエネルギー」 藤田 尚徳君
11月7日例会 プログラム 「ロータリー財団月間に因んで」 ロータリー財団委員長 大西 正高
10月31日のメニュー ・牛肉の照り焼き&鶏肉の蒸し焼き ・カニ入り肉団子汁 ・白和え ・きのご飯 ・コーヒー

## 前回(10月24日)例会記録

出席報告	会員総数	32名(内出席規定適用免除者1名)	出席者数	12名	欠席者数	19名	出席率	38.71%	前回補正率	87.1%
	前回補正者	藤田君 三宅(照)君 榎田君 富永君								
	欠席者	藤田君 石川君 井上君 岸本君 近藤君 宮原君 三宅(孝)君 三宅(保)君 仲田君 大久保君 岡君 小野君 島田君 白石君 谷口君 榎田君 富永君 安江君 山田(次)君								

### 会長挨拶

会員の皆様、本日も例会出席ありがとうございます。さて、昨今の金融システム危機については「何でもあり」の範囲に入ってきているように思います。現在議論されている時価会計の緩和等、最たるものと思います。1990年代前半に日本が不良債権処理でこれを行った時、欧米諸国が日本を槍玉にあげた施策ですが、欧米諸国共、時価会計の緩和に踏み切ろうとしています。これだけ難しくなった金融システム危機にどう対処すれば・・・と思うと、今後の動きに注視せざるを得ないように思います。

### 会長報告

- ・ 本日はありません。

### 幹事報告

- ・ MOA 美術館児童作品展実行委員会より「玉野ロータリークラブ・会長賞」の交付申請が届いておりますので、理事役員会にて審議させていただきます。
- ・ 玉野商工会議所より「宇野港の桜公園・桜の並木道」清掃のご案内が届いております。  
日時：平成20年11月9日(日) 11:00～ 集合場所：宇野港シーサイドパーク
- ・ 財団法人ロータリー米山記念奨学会より「ハイライトよねやま104号」が届いております。
- ・ ロータリーワールドが届いております。
- ・ 他クラブの週報・例会変更通知は回覧させていただきます。

### 委員会報告

- ・ 40周年記念誌作成委員会(大西委員長): 40周年記念誌も最終校正段階に入っております。皆様の顔写真を拝見いたしますと少し古いものが多く拝見されます。これでよいとお考えの方はその旨お返事ください。また入れ替えをご希望の方は新しいお写真を11月7日までに事務局までご提出願います。

### スマイル・ボックス

- ・ 林君 - 本日、卓話です。
- ・ 三宅(照)君 - 広島の時には、東川先生に大変お世話になりました。
- ・ 渡邊君 - 公害審査会のため早退いたします。

### プログラム 「アフリカよもやま話」 林 実君

「南アフリカを旅行して」

#### 南アフリカ共和国

かつては有色人種に対する人種差別で知られ、1994年に至るまで、アパルトヘイトと呼ばれる合法的政策があった。

鉱物資源に恵まれ、金やダイヤモンドの世界的産地であり、民主化後の経済発展は注目されている。

エイズの蔓延、教育水準の低い非白人の貧困、治安の悪化など懸念材料も多い。

アパルトヘイト = 人種隔離政策 1948年～1993年

差別の内容

国土面積の14%の土地が黒人専用・・・そこに国を作らせた。

黒人は「外国人」となるため南アの市民権はもてない。

レストラン、ホテル、電車、トイレに至るまで公共施設は全て区別された。

例えばレストランで同じテーブルを囲むことは法律で禁じられた。

海水浴でさえ専用ビーチが作られ、違反すると逮捕された。

人種の違う男女の結婚禁止 雑婚禁止法

恋愛感情だけでも罰せられた 背徳法

アパルトヘイトが無くなって

政治的には平等になったが、経済的には昔のまま。殆どの黒人は旧黒人居住区から離れることができない。豊かな白人、貧しい黒人、アパルトヘイトの「負の遺産」がまだ残っている。犯罪、エイズの多さも貧しさと無関係とはいえない。

HIV (エイズ) の陽性率

15歳～49歳で21.5%、2010年までに平均寿命は40歳以下に低下する。

世界最悪の犯罪都市・ヨハネスブルグ

地元警察の見解

- ・自動車の移動において、赤信号であっても事故の恐れがなければ「停止しない」。
- ・いかなる理由があろうとも車外に出ることは非常識である。
- ・日本人が駅周辺を歩くことは自殺行為である。鉄道やバスといった交通機関は黒人の低所得者が利用する手段であり、彼らは「非黒人」を助けてはくれない。
- ・建物から移動するときは、必ず自動車を使用すべきである。夜間は車であっても外出しないことである。危険地区では、決して停車しないよう警告されているが、むしろ今では危険地域の方が多くなった。

ジンバブエ共和国 (旧南ローデシア)

白人農場の強制収用

- ・2000年8月から白人所有の農場を強制収用し、黒人農民に再配分することを政策化した。この結果、白人の持っていた農業技術が失われ、食糧危機や第2次大戦後世界最悪といわれるインフレーションが発生した。
- ・通貨はジンバブエ・ドルで、世界で最も価値の低い通貨のトップ。
- ・世界で最もインフレが激しく、2008年7月には1000億ドル札の発行が行われた。
- ・1000億ドルは400円程度の価値しかない。
- ・2007年外資系企業に対して株式の過半数をジンバブエの黒人に譲渡するよう義務付ける法案が国会を通過した。これにより経済の崩壊が決定的になると見られる。